



**問** 地域活性化施設(仮称「道の駅」)の計画の進捗状況等について

**答** 事業計画は遅れています。今後は農振農用地区域からの除外申出に向け地権者の同意を得たい(町長)

**問** 地域活性化施設(仮称「道の駅」)の整備・開設に当たっては、基本計画・実施設計、用地買収、各種の申請及び許可手続、そして建設、開業、さらには施設の運営管理等々、多くのハードルがあります。

令和元年8月7日の町農業振興審議会の資料によると、令和5年度に施設をオープンするとし、地域活性化施設の完成までのスケジュールとして、①令和元年度には地権者との調整、地元説明会の実施、事業手法、発注方法、運営手法の検討、施設の配置計画、規模決定などを実施し、②令和2年度には運営事業者の募

集と選定、関係機関との調整、測量調査、基本設計、造成計画の策定などを実施するとしています。

これらは計画的に、またあるものは同時並行的に実施していかなければ、目標達成は極めて難しいものと思われる。

計画の進捗状況、施設の整備方針、検討内容等について、その現状と課題について町長の答弁を求めます。  
また、町民の参加意識の醸成・向上について特段の配慮をお願いします。事業を成功させるためには、何よりも町民の参加意識の向上が大切ではないかと思えます。

例えば参加意識の向上策として、①プレミアム付きの農産物の買取り券の発行、②子ども販売コーナー的なものを設ける等々、町民の事業への参加意識の向上策について、町長の答弁を求めます。

**町長** 残念ながら事業計画は遅れています。

現在、補助金や交付金の情報を得るため、また様々な協力をいただくため、大宮国道事務所や県の関係部署等を訪問しています。  
また、地域活性化施設が将来にわたり財政的な負担とならないためには、民間が持つノウハウや競争力などを活用することが重要であると考え、

民間事業者などからも意見をいただいています。

今後は、農振農用地区域からの除外申出に向け、地権者の同意を得たいと考えています。また、施設整備や管理運営の方針を示すとともに、基本計画の策定に向け、施設に参画を希望する方を募集し、ワークショップの開催を考えています。

町民の事業への参加意識の向上策についての提案は、出資者等に生産されたものでお返しをする話であり検討していきたい。

**「道の駅」の機能**

- 休憩機能** ・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ
- 情報発信機能** ・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供
- 地域連携機能** ・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

出典：新「道の駅」のありかた検討委員会より(国交省)



円内が仮称「道の駅」の設置予定地

感染された方においては、療養に専念され、一日も早く快復されるよう願っています。





問

小学校適正規模等検討委員会の進捗状況及び課題等について

答

「望ましい学校教育環境は何か・どのような教育を進めたらいいか」等の視点で検討、協議しています(教育長)

問

美里町の児童生徒もコロナ禍の中、活動していません。特に中学3年生は、高校受験を控え健康と学習に集中する重要な時期です。皆さんに心から応援のエールを送ります「ガンバレ中学3年生」。

グローバル化や情報化の進展、生産年齢人口の減少など社会や経済の急速な変化、社会のつながりや支えあいの希薄化など、各学校で抱える課題が複雑化、多様化しています。また、貧困家庭の増加、保護者からの多くの要望等、学校現場への求めも多くなっているとお聞きしています。学校や教職員だけでは解決で

きない課題も多くあるのではないのでしょうか。対話的、主体的で深い学習、考えさせる教育等、授業改善も必要ではないでしょうか。社会に開かれた教育課程の実現に向けて

学校体制の強化が必要と考えられます。さらに質の高い教育を目指していただきたいと思えます。そこで、これまで開催された小学校適正規模等検討委員会の進捗状況及び課題等答弁を求めます。

教育長

美里町立小学校適正規模等検討委員会は、教育委員会からの諮問に基づき、小学校の適正規模、適正配置等を検討し、その後、教育委員会へ答申を行う委員会です。

現在までに4回開催しており将来の美里町を背負って立つ子どもたちにとって「望ましい学校教育環境は何か、その望ましい学校教育の中で、どのような教育を進めたらよいか」等の視点で検討、協議を進めています。美里町の児童生徒数及び将来の見通しについて情報提供し、文部科学省の公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引

等踏まえた上で、大沢小学校の視察を行いました。また、事務局では、坂戸市の小中一貫校である城山学園と皆野町の複式学級設置校である三沢小学校について視察報告を行うなど、様々な方向性から、

協議いただけるよう努めています。

今後は、東児玉小学校、松久小学校の視察、3校を維持した場合と統合した場合の費用面の比較、また保護者へのアンケート調査等行い、総合的な判断の中で、将来の美里町の教育の在り方を見据えた答申をまとめていただきたいと考えています。



松久小学校の授業の様子



大沢小学校の授業の様子



東児玉小学校の授業の様子

○その他の質問

●不登校、いじめ、セクハラ、虐待等について





問 無料低額診療事業について

答 必要な方に相談窓口と連携をとり支援していきます（町長）

**問** 新型コロナウイルス関連の解雇、雇い止めの増、倒産や事業縮小に伴う収入減少が多くみられる中、本市にある医療法人社団寿会吉沢病院において、令和2年7月から無料低額診療事業を実地するという事で説明を受けに行きました。

この無料低額診療事業とは、低所得者などに医療機関が無料または低額な料金によって診療を行う事業で、経済的な理由により必要な医療を受けられる機会が制限されることのないようにする制度によるものです。全国での実施率はわずか0.35%で、ほとんど知られていません。深谷、本庄

地域で実施している医療機関は1か所のみです。戦後間もなく成立した社会福祉法（昭和26年制定）に位置づけられた事業であり、吉沢病院の初代創業者は故吉澤昭雄先生で、経営哲学を学び、理念の一つに患者、利用者の経済的負担は小さく、困っている人を見捨てないとあります。

誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを目指す観点から何点か伺います。  
①この事業は県の事業ですが、何か所くらい実施していますか。  
②児玉郡市医師会等の連携は大丈夫か。  
③本町での周知の仕方はどう

か（例えばホームページとか）。  
④本町のSDGsの目標に値するののか。

**町長**

無料低額診療事業は経済的な理由で診療費の支払いが困難な方を対象に医療費の全額もしくは一部を免除する社会福祉事業です。昨今の社会情勢を鑑みますと、町としても重要な事業の一つであると認識しています。県内で無料低額診療事業を実施している医療機関は、7月1日時点で28か所であり、吉沢病院もその一つです。この事業は、本市市児玉郡医師会との連携により実施するものではなく、医療機関が経営上の判断に基づいて自主的に実施

するもので、その判断はそれぞれの医療機関に委ねられているものと聞いています。町の対応としますと、住民の方から生活困窮など様々な相談を受ける中で、この制度に該当しそうな方がいる場合は、吉沢病院の相談窓口へつなぎ、町と連携を図りながら相談者を支援しています。

町ホームページでも周知し、必要な方に情報を広く行き届くよう努めます。SDGsの関わりについては、この制度では目標1の貧困をなくそう、目標3、全ての人に健康と福祉を、目標10、人や国の不平等をなくそう及び目標17、パートナーシップ

で目標を達成しようの4つの目標達成に結びつくものと思えます。





問

医療、介護施設、保育園、学校等の職員に町財源でPCR検査を

答

12月1日から町内の3医療機関で保険診療で検査が受けられます(町長)

問

集団感染や重症化リスクの高い施設で働く職員を対象にPCR検査を行い、新型コロナウイルス感染症から町民の命、生活を守ってください。

美里町内の介護施設に無理をお願いして、コロナ禍でどうやって高齢で重症化リスクの高い利用者の命を守っているのかを伺いました。会議の招集を少人数で回数も最低限にする、休憩は時間をずらし分散して休憩室にたまることのないようにする、換気の徹底、マスクは絶対に外さない、職員の家族以外の外食を禁止、最後に、出勤前に自身の体調に熱等の異常がある場合は仕

事を休み、PCR検査を自費で受ける。かかりつけ医に行き診察を受け、医師の判断で公費負担のPCR検査となる場合もあるが、ほとんど自費、自腹でPCR検査を受けている状況とこのことです。町民が働き入所する介護施設では、1万円から2万円かかるPCR検査を自費、自腹で受診しており、そのままして利用者の命を守っています。

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会、尾身会長は「もう個人の努力だけに頼るステージは過ぎた」と述べております。ですから、ぜひ町としても、本来だったら国ががんばっていかなくてはいいけな

町長

高齢者施設等で新型コロナウイルス感染症のスピードは、とてつもなく早い。ぜひ市町村でもバックアップして、コロナ患者のクラスターを出さないような対策をぜひ考えてほしいと思います。

クラスターを避けるためにも医療機関職員、介護施設職員、保育園職員、学校等の職員に定期的に無償でPCR検査を実施できないか伺います。



高齢者施設等で新型コロナウイルス感染症の複数発生しており、美里町としても強い危機感を感じています。現在、医療機関や高齢者施設、保育園、幼稚園、学校など、感染リスクの高い集団におけるPCR等の検査については、厚生労働省より濃厚接触者に当たらない方も無料で行われる行政検査を実施するよう、都道府県へ指針がだされました。介護施設等においては、十分な額ではないという事は承知していますが、PCR検査をするため、職員についても補助金が出る制度がありません。

12月1日からは県において発熱等の症状が出た場合に、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの両方の検査ができるよう、埼玉県指定診療・検査医療機関として町内の3医療機関で保険診療で検査が受けられるようになりました。





問 事務事業評価の実施と公表がされていないが

答 目に見える形のものには作成していない (町長)

**問** 事務事業評価は、行政機関が実施する行政活動の評価し、その成果を行政運営の改善につなげるために事務事業を評価・分析する手法です。現在の原田町長になってからほぼ公開されておりませんが、行政評価は毎年行われているのか、そして行われているのなら、なぜ公開していないのかお聞かせください。

**町長** 総合振興計画の実施計画につきまして、計画、実行、評価及び改善の4段階を繰り返すPDCAサイクルの手法により業務を継続的に改善させる取組を毎年行っています。(公開はしていない)

**問** 住民への説明責任を果たすためにも、この事務事業評価として細かくもう少し公開したほうが、今後の美里町のためにはいいのではないかと思っています。特にこれからは、オープンな議会とか行政の在り方というのがデジタル化に伴い重要な課題となってくると思います。

**町長** 事務事業評価の評価シートという目に見える形でのものは作成していないですけれども、それに代わるものは既に日々行っているつもりですので、公表が必要なものについては公表させていただきますけれども、それ以外のものはもう少しいろんなものが落ちてくまでは、今のままやらせていただきたいなと考えています。

**問** これから無駄な公共工事等で、この事業は本当に必要だったのかという全て公開することによって、住民の方々の目が行き届き、私たち議員も行政のほうも執行の方々も緊張感を持って仕事をしようになると思います。これも含めて、大変なのは分かるのですが、できたら前向きに町長に検討していただければと思っています。

事業をさせて、大きな目的は住民の福祉の向上であり、安全安心と幸せにどうやって暮らすかというところを目的としている。事業を日々改善し、必要な事業をつくっているほうを優先したいなと考えています。

行政評価の構築目的



町民に対する行政の説明責任(アカウントビリティ)が徹底されていないのは残念です。

